

輪ゴムの楽器のつくり方

しらべたいことがわかるような
タイトルをつけよう。



きっかけ

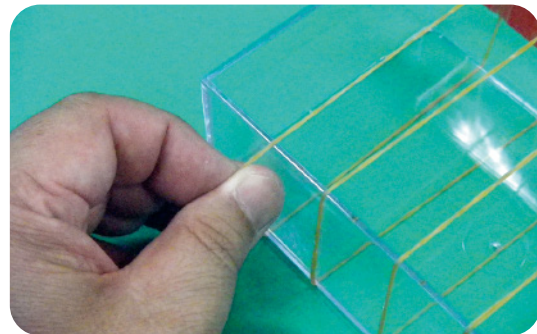
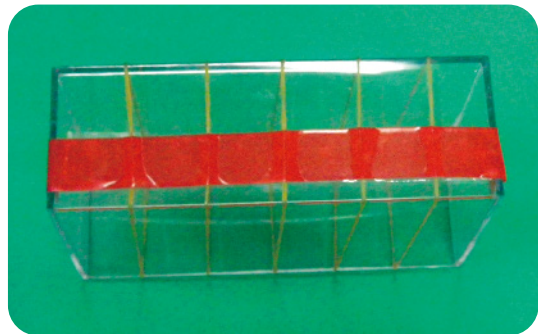
どうしてしらべようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。

ギターのげんを引っぱったりゆるめたりして
音を調節しているのを見て、同じように
輪ゴムを使っているいろんな音が出る楽器をつくれないうらうかと思った。

じっけんのやり方

つかったものや、しらべるやり方を
書こう。絵やしんもつかうと
わかりやすいぞ。

箱に何本か輪ゴムをかけ、片方をセロハンテープでとめる。



1本ずつ輪ゴムを引っぱったりゆるめたりして、
もう片方をセロハンテープでとめる。
箱のうら側に耳を当て、そつと輪ゴムをはじいてみる。

よそう

しらべる前に、けつかをよそうして書く。
よそうした理由も書こう。

ギターのようになんな音がなると思う。

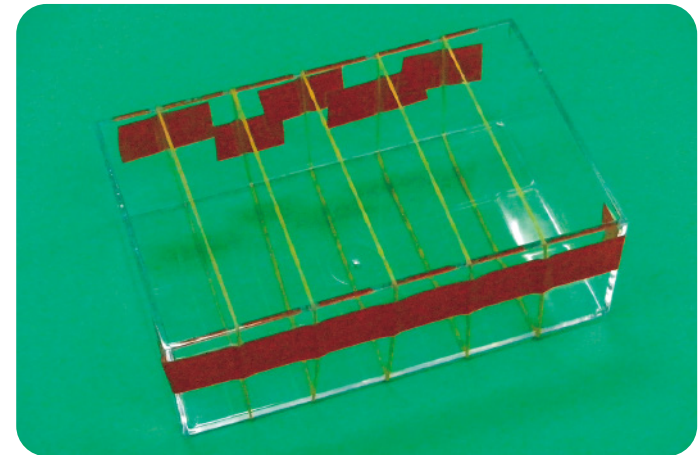
なまえをわすれずに書こう。

年 組 名前 ()

けつか

じっけんのけつかだけを書く。
表やグラフ、しんをつかうとわかりやすいぞ。

おもしろい音が出る
楽器ができた。



わかつたこと

けつかからわかつたこと、かんがえた
ことを書く。よそうとちがつたときは、
どうしてそうなつたのかかんがえてみよう。

輪ゴムのはり方によつて音の高さがなつた。
引っぱつたところは速くしんどうして、高い音が出た。
ゆるめたところはゆっくりしんどうして、低い音が出た。

まとめ

けつかとわかつたことをまとめて、
つぎにしらべてみたいことを書こう。

物のしんどうのちがいによつて、高い音や低い音を出せることがわかつた。
今回はバラバラの音だつたけれど、
ちゃんと音階に合わせてひくことができる楽器をつくつてみたいと思つた。